

◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

\*1月号 増田弘「政治家石橋湛山の戦後史上の足跡」高岡健太「アニメは日本を救えるか」

町田穂高「習近平は中国外交をどう変えたのか」酒井啓子「ガザ情勢が中東・国際政治に与える影響」

\*12月号 山田恵資「政治に希望はもてるか」中岡望「分断するアメリカの行方」矢野康治「わが国の財政について」稲田和男「地政学的要衝トルコの強みと弱み」

\*11月号 ピーター・ロバーツ「進化する日豪関係」松田京平「ここからの日本政治」加藤輝之「集中豪雨と線状降水帯」早川英男「内外経済と金融政策の展望」

【編集後記】

藤原帰一・東京大学名誉教授はご講演の中で、米ソ冷戦後の国際秩序や経済的リベラリズムが大きく壊れている現状において、日本の取るべき方向を提示されました。石橋湛山の「小日本主義」でも指摘されていたことですが、日本は戦後、日米同盟を基軸としながらも経済を通じて紛争解決の道を探ることを続けてきました。ウクライナやガザ地区で続く戦争や世界の分断状況にあつて、日本は今こそ、その姿勢を貫くべきだと話されていたのが印象的でした。

次号は小峰隆夫氏「2024年日本経済の展望と課題」、富坂聰氏「中国外交」の影響力拡大——「一带一路とフアーウェイとハマスが後押し」、小川聡氏「今年1年の政局展望」を掲載予定です。

東洋経済 **経済倶楽部講演録** (2024年2月号)

2024(令和6)年2月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 田北浩章 編集人 山縣裕一郎

発行 東洋経済新報社  
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉